

トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg 「サワイ」

トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg 「サワイ」

【この薬は？】

販売名	トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg 「サワイ」 Tosufloxacin Tosilate Tablets 75mg 「SAWAI」	トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg 「サワイ」 Tosufloxacin Tosilate Tablets 150mg 「SAWAI」
一般名	トスフロキサシントシル酸塩水和物 Tosufloxacin Tosilate Hydrate	
含有量 (1錠中)	75mg (トスフロキサシンとして51mg)	150mg (トスフロキサシンとして102mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ニューキノロン系経口抗菌製剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細菌の増殖に必要な酵素を阻害することにより、殺菌作用を示します。
- ・次の病気の人に処方されます。

〈適応症〉

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、ざ瘡（化膿性炎症を伴うもの）、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、骨髄炎、関節炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎、胆嚢炎、胆管炎、感染性腸炎、腸チフス、パラチフス、コレラ、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、外耳炎、中耳炎、

**副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、炭疽
(適応菌種)**

トスフロキサシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌（ペニシリン耐性肺炎球菌を含む）、腸球菌属、淋菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、炭疽菌、大腸菌、赤痢菌、サルモネラ属、チフス菌、パラチフス菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、コレラ菌、インフルエンザ菌、緑膿菌、バークホルデリア・セパシア、ステノトロホモナス（ザントモナス）・マルトフィリア、アシネトバクター属、ペプトストレプトコッカス属、バクテロイデス属、プレボテラ属、アクネ菌、トラコーマクラミジア（クラミジア・トラコマティス）

- ・この抗菌薬は自己判断で飲むのを止めたり、飲む量を減らしたりしないでください。指示どおりにきちんと飲まない、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬の効かない菌に変化したり、他の抗菌薬も効かなくなったりする可能性があります。医師の指示どおりに飲むことが大切です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にトスフロキサシントシル酸塩錠「サワイ」に含まれる成分で過敏症のあった人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人（ただし、炭疽、コレラの患者を除く）
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・腎臓に高度の障害のある人
 - ・てんかんなどのけいれん発作をおこすことがある人、または過去にてんかんのけいれん発作をおこしたことがある人
 - ・重症筋無力症の人
 - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔骨髄炎、関節炎、腸チフス、パラチフス以外の感染症〕

販売名	トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg 「サワイ」	トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg 「サワイ」
一回量	2錠	1錠
飲む回数	1日2～3回	

重症または効果不十分と判断された場合、1日量600mgを2～3回に分けて飲みます。

〔骨髄炎、関節炎〕

販売名	トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg「サワイ」	トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg「サワイ」
一回量	2錠	1錠
飲む回数	1日3回	

重症または効果不十分と判断された場合、1日量600mgを3回に分けて飲みます。

〔腸チフス、パラチフス〕

販売名	トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg「サワイ」	トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg「サワイ」
一回量	2錠	1錠
飲む回数	1日4回 14日間	

除菌を確実にするため14日間服用することが必要です。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、じんましん、判断力の低下
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう（テン）	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、食欲不振

重大な副作用	主な自覚症状
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹(ほっしん)、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
痙攣 けいれん	けいれん
意識障害(意識喪失等) いしきしょうがい(いしきそうしつなど)	意識の低下、考えがまとまらない、判断力の低下、意識がなくなる
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはればつたい、息苦しい、尿がでない、尿量が減る
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	関節の痛み、発熱、頭痛、膨れあがる感じ、血尿
腎性尿崩症 じんせいにようほうしょう	からだがだるい、のどの渇き、水を多く飲む、多量の薄い尿
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐(おうと)、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿が黄色い
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんなどのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	嘔吐、むかむかする、腹痛、下痢、血が混ざった便、発熱、頻回な下痢、血の混じった下痢
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
好酸球性肺炎 こうさんきゅうせいはいえん	発熱、から咳、息切れ
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、赤褐色尿
低血糖 ていけつとう	ふらつき、脱力感、冷や汗、めまい、頭痛、動悸、空腹感、手足のふるえ

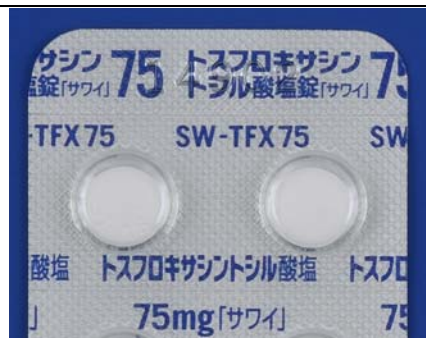

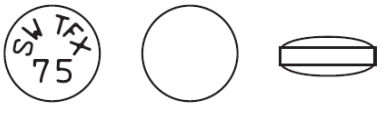
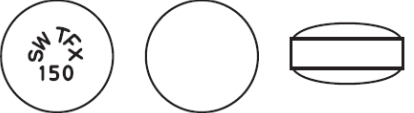
同類薬（他のニューキノロン系抗菌剤）であられる、特にご注意ください
 重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあられる
 可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した
 主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあられることが一般
 的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
アキレス腱炎、腱断裂 等の腱障害 アキレスけんえん、けんだんれつ などのけんしょうがい	押すと痛い、アキレス腱の痛み、うまく歩けない、はれ、歩けない
重症筋無力症の悪化 じゅうしょうきんむりよくしょう のあつか	まぶたが重い、上まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感

以上の自覚症状を、副作用のあられる部位別に並び替えると次のとおりです。
 これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだがだるい、ふらつき、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、高熱、けいれん、からだのむくみ、疲れやすい、脱力感、押すと痛い
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、意識がなくなる、頭痛
顔面	血の気が引く、ほてり、鼻血
眼	眼と口唇のまわりのはれ、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、眼がはれぼったい、白目が黄色くなる、まぶたが重い、上まぶたが下がる、物がだぶって見える
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、のどの渴き、水を多く飲む、吐き気、嘔吐、のどの痛み、歯ぐきの出血、から咳
胸部	息切れ、息苦しい、動悸、吐き気、むかむかする
腹部	食欲不振、膨れあがる感じ、吐き気、むかむかする、腹痛、頻回な下痢、空腹感
手・足	関節の痛み、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、手足のふるえ、アキレス腱の痛み、うまく歩けない、はれ、歩けない
皮膚	じんましん、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、かゆみ、皮膚が黄色くなる、あおあざができる、皮下出血、はれ
筋肉	筋肉の痛み、筋肉の疲労感
便	下痢、血が混ざった便、血の混じった下痢
尿	尿がでない、尿量が減る、血尿、多量の薄い尿、尿が黄色い、尿が褐色になる、赤褐色尿
その他	判断力の低下、陰部の痛み、出血が止まりにくい

【この薬の形は？】

販売名	トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg「サワイ」	トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg「サワイ」
P T P シート		
形状	フィルムコーティング錠 	フィルムコーティング錠 
直径	7.6mm	8.6mm
厚さ	3.1mm	4.7mm
重さ	150mg	298mg
色	白色	白色
識別コード	SW TFX 75	SW TFX 150

【この薬に含まれているのは？】

販売名	トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg「サワイ」	トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg「サワイ」
有効成分	トスフロキサシントシル酸塩水和物	
添加物	L-アスパラギン酸、カルナウバロウ、結晶セルロース、酸化チタン、ステアリン酸マグネシウム、タルク、トウモロコシデンプン、二酸化ケイ素、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、マクロゴール 6000	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：沢井製薬株式会社 (<https://www.sawai.co.jp>)

お客様相談室

電話番号：0120-373-381

受付時間：9時～17時

(土、日、祝日、その他当社休業日を除く)